

実現

府民と力あわせ府政動かす



子ども検査キット+薬局での無料検査

子どもへの検査キット無料配布、薬局などでの無料検査、老人ホームなどの職員への定期検査を実現。

検査キット全家庭に

子ども検査キット配布は昨年11月だけの1か月限定。再開し、子どもがいない世帯にも。

無料検査継続を

府は無料検査を3月末で打ち切り。継続を。

病院／保健所徹底強化を

高齢者が感染したら入院できる体制に。保健所増設、保健師などの増員を。



病床削減ストップ！

コロナ病床をふやすことこそ必要です。

■大阪府の病床削減・転換 実績と計画

2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
326床	218床	98床 (見込)	479床(計画)

2020～22年度合計 642床



支援学校新設

保護者とともに長年要求、ようやく24年春に西淀川地域で新校開校へ。

まだまだ足りない教室 もっと新設を

支援学校教室不足が大阪は528室で全国最多。さらなる新設を。



子どもの貧困対策補助金

“子どもの貧困”を府議会で初めて全面的に質問。3億円の緊急対策補助金が創設。

もっと増額を

維新府政は2年前に2.5億円に減額。増額こそ必要です。



営業自粛業者へ給付金

コロナ禍当初から、営業自粛で苦しむ業者への支援を提案。「営業時間短縮協力金」などを実現。

中小業者に固定費補助を

値上がりする光熱費・家賃などへの補助を。



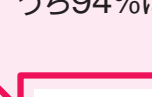
身近な安全守る

府立高の危険ブロック塀改修が完成。



パートナーシップ宣誓制度

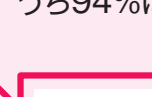
2019年スタート、今年2月までに160組が宣誓。家族として府営住宅申し込みもできます。



府営住宅地位承継 子・孫も

“地位承継”が子・孫に拡大。「親が亡くなったら低所得や病気でも追い出される」と悲鳴が上がっていました。

募集増やし、若い世代や高齢者が入居しやすく



府議88人中
質問発言回数 NO.1・2
府議会本会議・常任委員会での質問発言回数
(2019年5月～2022年12月)

1位	石川 たえ (共産党)	33回
2位	うち海公仁 (共産党)	31回

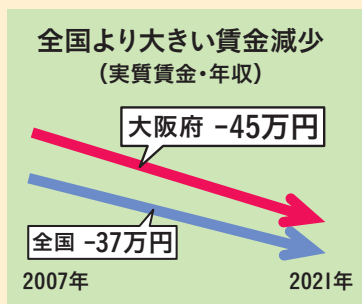


提案

いのち・暮らしを守る府政へ

給料が上がる大阪に

大阪は全国よりさらに実質賃金が減。
共産党は、大企業の内部留保への課税
で中小企業の賃上げ支援を提案。
大阪府も、事業所の社会保険料負担
増分への補助など“本気の対策”を。



消費税緊急減税、インボイス中止を

物価高対策の“特効薬”は消費税の5%への緊急減税。
小規模事業者などに大きな負担になるインボイスは中止を。

電気・ガス代補助を

光熱費の値上げが家計を直撃。
府として各家庭への補助制度を。



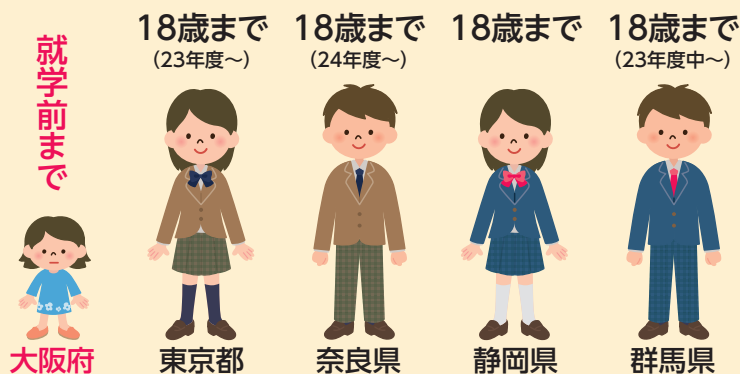
国保料値下げを

維新府政は、府内一律料金で、市町村による
財政支援にストップをかけています。
しかしそれでは国保料がさらに値上げに。
一律料金押しつけはやめ、国や府の財政支
援で“払える国保料”に。



医療費 18歳まで無料に

多くの県が子どもの医療費無料化を拡大中。
大阪は1回500円の窓口負担あり。
府の責任で18歳まで無料に。



給食費無償 全小中学校で

府と市町村が協力すれば給食費の負担はなくせます。
千葉では県がお金を出して3人目以降の子どもの
給食費を無償化。

全クラスを少人数に

大阪では小4以上はほとんど40人学級。
教師をふやし全クラス35人以下にして、
“みんながわかる”授業に。



高校つぶしストップ

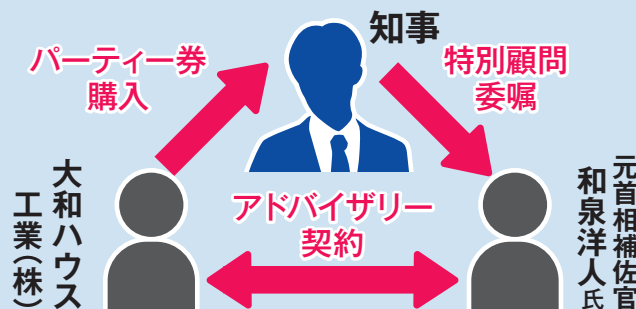
維新府政はこれまでに17校もの廃校を決定。
「近くに通える高校がない」子どもがふえています。
保護者・生徒、地元の声を無視した高校つぶしは中止を。

追及

政治のゆがみ正す

カジノ誘致 NO!

カジノは府民の財産と健康を奪う賭博です。
共産党は、カジノ用地の賃借料不当値引き、
出資会社から知事への献金などを徹底追及。
府民を苦しめる「成長戦略」など言語道断です。



森友疑惑を徹底追及

国有地を不当に値引きした森友学園疑惑。
共産党の追及で、大阪府の審議会が疑惑の舞台だったことが明らかに。

「大阪都」構想を否決

大阪市を廃止する「都」構想を、府民との
スクラムで2度否決。

大阪府から 大軍拡 NO! の声上げよう!

日本共産党大阪府議団は、「『安保3文書』改定の撤回と大幅な軍事費拡大の中止を求める意見書」を府議会に提案しました。